

広島県中小企業団体中央会 2018年8月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

8月の出荷量は前月比18.4%減少、前年同月比4.2%増加となり、売上高は前月比16.4%減少、前年同月比2.1%増加となった。

繊維・同製品

●繊維工業

広島県織物構造改善工業組合

来春夏物の生産がスタートした。

●衣服・その他の繊維製品

広島県アパレル工業組合

猛暑のため、空調服（電動ファン付作業服）の売れゆきが好調で、どのメーカーも完売している。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

例年通り秋口は忙しくなることを期待している。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成30年7月の全国の住宅着工戸数は82,615戸で前年同月比0.7%減少
- ・季節調整済年率換算値では95.8万戸（前月比4.7%増加）
- ・利用関係別では、持家は25,447戸で前年同月比0.3%増加、貸家は35,847戸で前年同月比1.4%減少、分譲住宅は20,885戸で前年同月比0.7%減少
- ・木造住宅の着工数は46,932戸で前年同月比1.6%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で2か月連続の減少

<広島>

- ・広島県内の7月の着工戸数は1,627戸で前年比18.7%減少、このうち持家は497戸で前年比5.7%減少、貸家は589戸で前年比18.4%減少、分譲は539戸で前年比28.3%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で4か月連続の減少
- ・地域別では広島市が着工戸数753戸で28.1%減少、福山市が250戸で28.0%減少、廿日市市が63戸で30.8%減少、呉市が34戸で76.6%減少となった一方、東広島市は113戸で52.7%増加、尾道市は43戸で16.2%増加と地域ごとにばらつきがある結果となった。全体としては6月下旬以降の台風や大雨、更に平成30年7月豪雨により製造・流通面で多くの被害があった工場はほぼ通常稼働に戻り、一部で仮設住宅や応急修理で多忙な地域もあるなど今後の復興に向けた秋需が期待されている。しかし、業者間、地域間の繁閑差も顕著であり、復興に時間がかかるとの見通しもある中、今後の猛暑や災害復旧状況、秋需の動向などをしっかり注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

先月開催された展示会（IGAS）では、インクジェットによるデジタル印刷機の台頭に目を見はるものがあった。今までのオフセット印刷機との主役交代時期がいつになるのか、各社の動向を注視している。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

仕事量は前年比増加で引き続き推移している。

このたびの災害により、在庫数量に対する管理等が適切にできていない部分があることが問題化した。今後、在庫管理体制等の見直しを行うことで信用力の向上に努めていかなければならない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

平成30年7月豪雨により、各企業とも直接、間接被害を受けている。

また、マツダが未だ正常稼働していないため、自動車関連は売上低下に伴い軒並み減収となっている。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

30年8月 2,413m³ (前年比22.4%減少)

30年7月 2,442m³

29年8月 3,110m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

7月豪雨によりマツダが操業を一時停止し、生産調整を行ったことにより、協力企業も部品製造等の生産調整を行った。それに伴い生産額、設備稼働率、収益面に影響があった。マツダが9月、10月より生産を正常化することから、業績は改善されるものと推察される。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は自動車関連が好調であり前月比22%増加、前年同月比18%増加となった。

2018年7月の工作機械業界の受注総額は、1,511.4億円で2ヶ月連続の1,500億円超え。7月としては過去最高額である。

出島工業会協同組合

今月は、平成30年7月豪雨の復興需要があり、好況に推移している。

組合としては、役員の高齢化、世代交代が引き続き課題である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月は、平成30年7月豪雨で製品・資材・仕掛及び設備が一部浸水したため、復旧作業に追われ前月比13%減少となった。前年同月比は7%増加となった。

受注量はここ3ヶ月国内外とも減少傾向にあるが、10月からは増加に転じるのではないかと。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。8月も平成30年7月豪雨の影響でマツダの生産台数が大幅に減少したため、売上は前年同月比減少となった。

- ・8月の国内自動車販売台数は全需が364千台、前年同月比2.5%増加と2ヶ月連続の前年超え。登録車は前年比0.2%減少と2ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は7.7%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は11.7%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・アメリカの7月の全需は1,369千台で前年同月比3.3%減少と2ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も同10.9%減少と2ヶ月振りの前年割れ
- ・欧州の7月の全需は1,493千台で、前年同月比8.3%増加と4ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同0.3%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・中国の7月の全需は2,008千台で、前年同月比1.9%増加。マツダ車は同10.6%減少と3ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の7月の海外販売合計台数は112千台、前年同月比0.4%減少と7ヶ月振りの前年割れ
- ・マツダの7月の輸出動向については、輸出台数は前年比26.8%減少と7ヶ月振りの前年割れ
- ・マツダの7月の国内生産台数は、前年同月比30.9%減少と4ヶ月振りの前年割れ

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成30年8月の船舶建造許可実績は1隻13,550総トン(前月5隻95,799総トン、前年同月2隻174,000総トン)であった。なお、この1隻は国内船で貨物船である。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

平成30年7月豪雨の影響もあり、前月比、前年同月比とも売上は減少しており、厳しい状況である。秋以降は、復興需要、関東地区のオリンピック需要に期待したい。

安価な価格帯、高級な価格帯は健闘してるが、中間価格帯の売上に苦戦している。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

平成30年7月豪雨復旧の長期化から、呉方面への物流関連業者に影響が出ている。交通機関の復旧遅れもあり、従業員の出勤にも影響が出ている。

最低賃金の上昇により、賃金コストが上昇し、人手不足感も継続している。

ガソリンの高値安定から運搬費用が増加し、収益を圧迫している。

「資材関連」においては、新設住宅着工件数が減少し、公共工事の請負金額も減少傾向。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売店の被災から売上激減、加えて夏物の季節商品も低調に推移している。

「食品」においては、猛暑や豪雨の影響から、外食産業の売上が減少。

「繊維」においては、人件費上昇の影響から、販売先小売店も含めて厳しい状況。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の6月の住宅着工状況は、前年比11.1%減少となった。内訳としては、持家11.6%減少、分譲9.0%減少、貸家13.4%減少と全体的に減少している。

平成30年7月豪雨により工場、事務所、家屋など多くの建物が浸水し、設備機器の復旧需要が発生した。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

平成30年7月豪雨の復興需要はあるが、地域は限定的であり、全体として売上は前年比、前年同月比とも減少した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

国産表の主産地熊本県八代では、29年産表の販売に追われている。

9月中旬からは新草の製造が始まることから、早期の古物い草畳表の販売に注力している。全体的に価格は堅調に推移している。

備後においても、古物を製織することで在庫一掃を図っている。価格は前月並みで推移している。

新物の製織は9月中旬以降、既に注文があったものから製織となる。

中国産表は、季候変動により収穫量が前年比3割減となることから、古物のい草を製織し、フル稼働にて注文に応じている。一部新草も製織している。中国から日本への輸送ルートを変更し、約10日程度で日本へ到着するようになった。

小売業

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

平成30年7月豪雨に伴うインフラ復旧に時間を要していることから、集荷・価格に影響が出ている。

酷暑により青果・鮮魚は入荷、販売ともに低調であった。

野菜相場、魚相場の高値傾向は今後も続くものと思われ、今後の見通しに明るさがない状況である。

協同組合三次ショッピングセンター

平成30年7月豪雨により花火大会の中止や、お盆の客数減少で来店客数が大幅に減少した。しかし、核店舗のスーパーやその他専門店の販売強化によりショッピングセンター全体の売上は前年比、前年同月比ともに増加した。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比3.2%増加となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比3.1%増加、冷蔵庫同2.6%減少、洗濯機同0.7%減少、IHクッキングヒーター同0.9%減少、電気温水器同12.4%増加、エアコン同17.8%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

平成30年7月豪雨の特需等により燃料油全体の販売量は増加した。しかし今月は通常に戻り初め、今後売上は下降する予定である。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

コインパーキングとして使用されていた本通2丁目の土地が売却され、今後40戸の賃貸用ワンルームマンションの建設が予定されている。近隣には今春、22戸の賃貸用ワンルームマンションが完成し順次入居が行われており、病院や企業の借り上げ社宅需要を見込んだものであると思われる。

現在、今回の豪雨災害の被災者や復旧作業従事者向けの一時的な賃貸住宅としても需要が発生している。

広島金座街商店街振興組合

平成30年7月豪雨によりほぼ全店で売上は前年比減少している。カープの優勝に売上回復を期待している。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比8.5%減少、前年同月比3.2%増加。車検場収入は前月比8.6%減少、前年同月比5.2%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比9.6%減少、前年比23.1%増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

徐々にではあるが、例年通り秋から年末に向けて受注が増加してくる見込みである。

建設業

●工事業

神辺建設業協同組合

平成30年7月豪雨の災害復旧への対応に各社追われており、手持ち案件の工期に影響が出ている。また、台風の影響もあり作業は難航しており、依然施工業者などの人員確保が課題である。

今後も災害復興特需により仕事量は増加する見通しである。

福山地区電気工事業協同組合

今月の電気使用申込み件数は、前月比増加、前年同月比2割弱減少している。平成30年7月豪雨の影響からか、件数が伸び悩んでいる。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、僻装クロスの3品目について、今月は平成30年7月豪雨に伴う復旧工事、既存工事の延期工事もあり、前月比53.8%増加となった。前年同月比も34.5%増加となったが、前年累計比は4.7%減少と未だ前年割れしている。

来月以降も引き続き復旧工事や完成物件の増加に伴い、仕事量は増加することが予想される。

運輸業

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

今月は平成30年7月豪雨の被災により、JRの貨物輸送が不能となったため、陸上貨物輸送が増加した。また、災害復旧用材料の貨物輸送が増加したが、道路の復旧遅れや車輛不足により十分な受注対応ができなかった。

米国のイラン制裁を受け、10月からイラン産原油の輸入が停止される見通しとなり、燃料価格が上昇している。収益状況の悪化が懸念される。

松永地区トラック事業協同組合

平成30年7月豪雨により7月の貨物輸送量及び売上は減少していたが、今月は前年並みに回復した。災害復旧の関係で重機の輸送やダンプによる土砂の輸送が増加、住宅関連輸送も順調に推移している。

しかし、収益状況は軽油価格の高止まりによりさらに悪化している。運賃の値上げ交渉は行っているが、無理にお願いすると同業他社に仕事をとられる不安もあり、実現出来ていない。ドライバーの補充は全く出来ていない。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

稼働日数の減少により、売上が減少した。

全体的には、前年比、前年同月比ともに変化はなかった。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は、前月比、前年同月比ともに変化なし。お盆休み後の半期決算等に係る一般評価が増える見込みである。一部組合員鑑定士が、坂町、海田町の豪雨災害被災家屋の被害調査業務支援を行った。